

令和4年3月30日
 JA中野市営農センター
 JA中野市プラム部会

生育は平年並～やや遅れる予想・結実確保のため授粉の徹底を

2月、3月上旬の平均気温は平年よりも1℃程度低く、生育は平年並か、やや遅れて進んでいると思われます。本年も凍霜害が心配されます。3月中旬に配布した別紙の「凍霜害対策特報」を参考に対策を講じてください。また、例年、結実良好な品種も授粉（相互交配）を徹底しましょう。

(平岡定点 開花日) 「平岡地区 太陽 開花予想 4月14日」

平年	R1	R2	R3	R4 (本年)
4/14	4/14	4/8	4/2	4/14?

1. プラム薬剤散布 (今回、プルーンの防除はありません)

【第2回 定期防除】 対象病害虫：黒斑病、かいよう病

散布時期	・開花1～2輪咲き頃 (4月上旬～中旬)	
散布薬剤	水 100ℓ当り ICボルドー412 3.3kg	散布日 ____月 ____日 散布量 ____ℓ
散布量	10aあたり 350ℓ	
注意事項	<p>*他の園地にかからないよう散布する。</p> <p>① 展葉後の散布は薬害を生じる恐れがあるため、散布時期を厳守する。</p> <p>② 【黒斑病(かいよう病) 対策】 固着性展着剤「アピオンE」の1000倍を加用する。</p>	

「ひよどりによる花の食害について」

ここ近年3月下旬～4月にかけて、「ひよどり」による花の食害を受ける事例が発生しました。特に昨年被害を受けた園地は、必要に応じて対策を講じてください。

○被害品種 : 特に「シナノパール」「ハリウッド」 *その他品種も被害を受ける場合あり

○鳥の種類 : 「ひよどり」 *スズメより大きく、鳩より小さい。

○被害時期 : つばみ～開花期にかけて、花を食害する

○被害状況 : ひよどりは定着性があるため、前年に被害があると今年もほ場を訪れる可能性が高い。数日で花を食害する。

○対策 : 開花前から、防鳥ネットや防鳥テープを設置する。

案山子(かかし)、吹き流しなどを用いて鳥の警戒心を煽り、園地に近づけないようにする。

開花前のボルドー散布を実施する。(黒斑病対策として)



花の食害後

次ページもご覧ください

2. 人工授粉（相互交配）のポイント

***時間帯**：10時～15時頃

***条件**：風のない暖かい日（昼間の気温が20℃以上）が望ましい
*好条件の日が少ないので、授粉はこまめに実施する。

*授粉作業は、主に「毛ばたき」を使用する。

*毛ばたきの状態を確認し、微細毛が劣化している場合は、買い替えを検討してください。

【毛ばたき 使用方法】

①授粉樹の花から毛ばたきに花粉を付ける。この時、なでるように優しく転がす。

②次に受粉したい品種の花に、軽くなでるように転がす。（①と②の繰り返し）

*授粉作業した花が分かりにくいいため、丁寧な授粉を心がけてください。

*無理に花に押し付けたり強く激しく動かすと、花を傷める場合があります。

毛ばたきのご案内（JA資材店）

商品名	サイズ	通常価格
ケバタキ	60cm	6,385円
ケバタキSK-30	40cm	3,644円
ケバタキSK-100	18cm	1,781円

3. 重要病害虫

黒斑病（かいよう病）

越冬場所：樹上（枝の病斑部や芽で越冬し、翌年の伝染源となる）

感染時期：落花期～梅雨期頃まで

防除対策：① 薬剤防除（開花前のボルドー散布、落花期頃からの抗生物質剤の散布）

*抗生物質剤・・・アグレプト水和剤、マイコシールドなど

② 風当たりの強い園地は、防風ネット・防風林などを設置する。

③ 被害枝の切除

